

平成 29年 2月 17日

二本松市議会議長 様

会 派 名 公 明 党

代表者名 小 林 均



## 視察研修報告書

当会派において、下記のとおり研修会に参加しましたので、報告いたします。

記

1. 研修名 地方議員セミナー 主催 保育研究会  
保育の拡充と地方議会の課題
2. 研修日時 平成29年 2月 8日 (水)  
10時00分～16時55分
3. 研修場所 渋谷区代々木1-36-4 全理連ビル9階会議室
4. 講師等 別紙のとおり
5. 参加者 ① 小林 均 ②  
③ ④  
⑤ ⑥  
⑦ ⑧  
⑨ ⑩



# 視察研修結果報告書

## 1 視察の目的

今、多くの自治体の中で、住民の関心事である保育の拡充について、このセミナーに参加して、①保育士の処遇改善、②待機児童解消、③公立施設の認定こども園化や民営化、といった観点から、国や各自治体の政策動向・各地の現状を学び、本市の予算審議に向けた課題を研究する。

## 2 視察結果若しくは成果

①○保育士処遇の悪さの根本原因は → 国の保育士配置基準の低さ(実態は国基準の約2倍)、給与基準の低さ、専門職としての保育士の仕事の置づけの軽視(サービス残業化)等々。

○子育て支援が叫ばれながら、2000年以降保育単価(公定価格)は微減その結果、保育士の人件費財源を運営費に回している。

◎改善課題は保育士の仕事をきちんと評価した改善と、国の保育士配置基準の抜本的改善が必要。

②○待機児童は特定の地域に集中している。

○待機児童の中心は0.1.2歳児→0歳児4月の入所希望増

○新たに3歳児の待機児童問題も

◎保護者の願いは「家の近くで、就学前まで預けられる環境の良い安全な保育所。保育需要を見極める指標として保育所の利用率を見る。

③○認定こども園への移行状況、公立施設の縮小と幼保一体型の施設⇒大規模化、市町村の保育実施責任の解消へ向けた環境整備

◎市民は認定こども園ではなく認可保育所と公立幼稚園の充実を求めている。

※ 添付資料（視察資料、写真、説明者の名刺（写）、行程表 等）

報告者氏名 小林 均

**参加証**

\*当日、この参加証をご持参のうえ、受付にてご提示ください。

# 地方議員セミナー

## 保育の拡充と地方議会の課題

二本松市	氏名	小林均 様	相当のご注文 なし	参加費	10,000 円
受付No. 44				お弁当	0 円
				合計	10,000 円

同封の振替用紙をご使用のうえ、お早目に、郵便局から 10,000 円をお振込みください。  
参加費の振込確認をもって、手続き完了となります。

日時● **2017年2月8日(水)** 10時00分～16時55分

会場● **全理連ビル9階会議室(全国理容生活衛生同業組合連合会ビル)**  
東京都渋谷区代々木1-36-4

10:00～11:20	講義1 保育にかかわる国・自治体行政の動向 新制度実施以降の動向と、来年度保育関係予算の概要などを解説 逆井直紀(保育研究所常務理事)
11:25～12:40	講義2 保育士の処遇の現状と改善課題 政府・自治体の対応と問題点、処遇改善のための課題を整理 村山祐一(保育研究所・元帝京大学教授)
13:40～15:00	講義3 待機児童はなぜ減らない? 事業計画見直しの課題 待機児童解消策の検証とともに各自治体事業計画への見直しの視点を提示 実方伸子・若林俊郎(保育研究所)
15:05～16:20	講義4 公立幼稚園・保育所の統廃合と認定こども園化 住民要求実現の観点から、民営化と統廃合および認定こども園化を検証 杉山隆一(佛教大学教授)
16:25～16:55	質問と交流 全講師で対応

※ キャンセル規定

2月1日午後3時までにご連絡いただいた場合に限り手数料(1,000円)を差引いた上で返金いたします。

**主催 保育研究所**

お問い合わせ先

〒162-0837 東京都新宿区納戸町 26-3 保育プラザ TEL03-6265-3173 FAX03-6265-3230